③ 防水改修工事

7 合成高分子系シート防水ルーフィング

[3.5.2～4][表3.5.1～3]

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用	備考
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による	・ ・ ・ ・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による	・ ・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2		(材質) ・改修標準仕様書3.5.2(c)(3)(ⅱ)による ・ (厚さ)・25mm ・	・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・SI-M1 ・SI-M2		(材質) ・改修標準仕様書3.5.2(c)(3)(ⅰ)による ・ (厚さ)・25mm ・			・ ・	

屋内防水

防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	床塗り工法	下地モルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ
・S-C1	図示		・改修標準仕様書6.15.6(b)(2)及び(3)に準ずる ・	・改修標準仕様書6.15.6(c)(1)に準ずる ・	・7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ
・改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
絶縁用シートの材質 ・発泡ポリエチレンシート ・
固定金具の材質及び寸法形状
・厚さ0.4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板
・
脱気装置の種類及び設置数量
・ルーフィングシート製造所の指定による ・
・脱気装置の種類： 、設置数量： 個/㎡
既存防水下地がPCコンクリート部材及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
PCコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1、S-C1の場合）
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
ALCパネル下地の入隅部の増張り（種別S-C1の場合）
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 塗膜防水

[3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用	備考
・33X	・X-1 ・X-2 ・	図示	・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による	・	改修用ドレン ・設ける ・設けない 脱気装置 ・設ける ・設けない
・13X	・X-1 ・X-2 ・		・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない ・設けない
・P1Y	・Y-2 ・					保護層 ・設ける ・設けない
・P2Y	・Y-2 ・					保護層 ・設ける ・設けない

脱気装置の種類及び設置数量
・主材製造所の指定による ・
・脱気装置の種類： 、設置数量： 個/㎡

⑨ シーリング

[3.7.2、3、7、8]

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない
エッジング材張り ・適用する ・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
・建具回り	変成ｼﾘｺｰﾝ2成分形
・打継目地	変成ｼﾘｺｰﾝ2成分形

シーリング材の目地寸法
・改修標準仕様書3.7.3(a)(1)～(3)による ・

③ 防水改修工事

⑩ といい

[3.8.2、3]

といの材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・
ルーフドレン

種別	施工箇所
・ろく根用 ・縦型 ・横型）	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
・規制対象外 ・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ・
鋼管製といの防露巻き ・改修標準仕様書3.8.5による ・
たてどい受金物の取付け ・図示 ・
ルーフドレンの取付け
・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填
・

11 アルミニウム製笠木

[3.9.2、3]

種類 ・オープン形式（・押出250形 ・押出300形 ・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式）
本体幅（ ）mm 板厚（・2.0mm ・ mm）
表面処理 種別（ ）種
皮膜等の種類（・標準仕様書表14.2.1による ・ ）
着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ）
・行わない
下地補修の工法 ・図示 ・
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・図示 ・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

④ 外壁改修工事（共通事項）

① 施工数量調査

[1.5.2、3]

調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲
調査内容
タイル張り仕上の場合
ひび割れ（幅0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
コンクリート打放し仕上げ、モルタル塗り仕上げの場合
ひび割れ（幅0.1～0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びひび落部を調査する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・
調査報告書の部数 ・2部 ・

2 可とう性エポキシ樹脂

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

3 パテ状エポキシ樹脂

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

4 エポキシ樹脂モルタル

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

5 ポリマーセメントモルタル

[4.2.2]

（性能）
工事建築材料等品質性能表による

6 ポリマーセメントスラリー

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による

7 既製調合モルタル

[4.2.2]

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

4-1 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁改修）

① ひび割れ部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.3.4～6]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	・ 200～300 ・	・130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
	0.3以上0.5未満	・ 100～200 ・	・ 40 ・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0以下	・ 150～250 ・	・130 ・

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形
コア抜取り検査 ・行う
・行わない
抜取り個数 ・長さ500mごと及びその端数につき1個 ・
抜取り部の補修方法 ・図示 ・

② 欠損部改修工法

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ・1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・行わない
・可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

[4.1.4][4.2.2][4.3.7]

・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
・

4-2 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う（・ 全面 ・図示の範囲）

② ひび割れ部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.4.5～7]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	・200～300 ・	・ 130 ・
			・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
	0.3以上0.5未満	・ 100～200 ・	・ 70 ・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0以下	・ 150～250 ・	・ 130 ・

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形
コア抜取り検査 ・行う
・行わない
抜取り個数 ・長さ500mごと及びその端数につき1個 ・
抜取り部の補修方法 ・図示 ・
・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ・1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・行わない
・可とう性エポキシ樹脂
・ シール工法
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

③ 欠損部改修工法

[4.1.4][4.4.3][4.4.8、9]

・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセモルタル ・
・モルタル塗替え工法
既製目地材 ・使用する（形状 ）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・

④ 浮き部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.4.10～15]

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	充填量(mL/箇所)	注入量(mL/箇所)
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	・16 ・	・25 ・	—	—	・25 ・	—
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・25 ・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・50 ・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	—	—	・25 ・	—
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	—	・25 ・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	—	・50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—	—
・ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法	—	—	—	—	—	—

アンカーピン
・ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
・ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
既製目地材 ・使用する（形状 ）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ・図示 ・

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁改修

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ・下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.5.5、6]

・ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	・ 200～300 ・	・130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
	0.3以上0.5未満	・ 100～200 ・	・ 40 ・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0以下	・ 150～250 ・	・130 ・

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形
コア抜取り検査 ・行う
・行わない
抜取り個数 ・長さ500mごと及びその端数につき1個 ・
抜取り部の補修方法 ・図示 ・

・ Uカットシール材充てん工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁改修

3 欠損部改修工法

・ タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

・ タイル張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置 ・改修標準仕様書表4.5.1による ・

タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・行う
・行わない

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイル張りの工法
外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り
外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地 ・変成シリコーン系 ・

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.5.9～15]

工法の種類（タイルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	充填量(mL/箇所)	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・16 ・	・25 ・	—	—	・25 ・	—
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	—	—	・25 ・	—
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	—	・25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	—	・50 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	・25	—
・タイル部分張替え工法	—	—	—	—	—	—
・タイル張替え工法	—	—	—	—	—	—

アンカーピン
・ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
・ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

タイル張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

伸縮調整目地
位置 ・改修標準仕様書表4.5.1による ・

タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・行わない

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイル張りの工法
外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り
外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地 ・変成シリコーン系 ・

5 目地改修工法

[4.1.4][4.5.16]

・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・

6 タイルの形状、寸法等

[4.2.2]

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

松森建築設計事務所 三重県志摩市阿児町鵜方3368-5	一級建築士 設備設計一級建築士 松森 正晴	工事名称	市営住宅細田住宅他１件長寿命化型改善工事	日付	A-03
		図面名称	特記仕様書－２	縮尺	